

ろくおん 通信

発行日：1995年6月15日

No. 74号

発行：省人権文化センター録音製作係

「音声訳」を考える（第27回）

処理を考える（第2回）

～ 音声訳上の処理について ～



はじめに

「音声訳上の処理」とは、「さまざまな形態で書かれている墨字資料を音声に変換して出来る限り正確に伝えるための技術」のことです。そしてこの処理技術を上手に行うには、きれいに録音する為の「録音技術」や誤読なく正確に読む為の「調査技術」などを前提としたうえで、

- A. 音声表現技術（テクニック）
- B. 図・表・写真、記号などを含め、何を伝えたいかを理解し、正確に伝える能力（読解力。その分野の知識）
- C. そのまま音声化すると内容が正確に伝わらない時に、補足や削除して、より正確に伝えるセンス（聞く側にたった処理）

といったことが必要となります。ですから「音声訳上の処理」といっても、少なくとも3種類のそれぞれ異なった技術や能力が求められ、そのどれが欠けても上手な処理は行えません。また、実際に処理していく時には、

- ・音声訳者自身の音声表現技術（レベル）を自覚し、
- ・利用者のだれもが音声の変化・間などを聞き分けながら読書しているわけではないことを認識し、
- ・点字の読書と違い、一般的に録音図書での読書は受け身的な読書であることも念頭におきながら、

決めていくこととなります。

処理でベースとなるのは音声表現技術です。『ろくおん通信』等で処理の練習問題を取り上げ、いろいろな例をあげていますが、実際にはそれを「どのように音声表現するか」は大変重要です。仮に漢字の処理で、補足の場所やコメントが正しくても、実際の読み方（表現技術）がまずければ、かえって混乱させたりすることだっておこります。

処理技術は、前記のA、B、Cの質の異なる技術が必要となりますが、これらの技術は、たとえば小説などのようにAの表現技術がウェイトを占める場合もあれば、BやCがウェイトを占める場合もあります。BやCがウェイトを占めるような本は、その分野の知識が求められますし、調査や処理の研究に費やす時間が多くなり、音声訳者からは敬遠されがちです。しかし、そうした分野の本も資料として視覚障害者に提供していかなくてはなりません。B、Cの処理技術はまだ研究の段階ですから、さまざまな工夫が求められるところです。

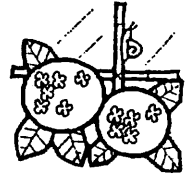
処理は、本の内容や種類、書き方、本人の技術なども含めて様々な要素を含みながら行いますので「これしかない」といったものはありません。音声訳者は、その原本一つひとつに対してもっとも相応しい処理を常に考えていくことが大切です。

音声訳上の処理技術を向上させるには、他人の録音したテープをできるだけたくさん聞くことが役立ちます。校正作業や共同でテープ雑誌などの製作に携わっていると上達が早いと言われるのは、他人のテープをよく聞くことで耳を鍛え、それが処理の向上に結びつくからです。音声訳者は読むことだけに限定せず是非、校正作業にも参加されることをお勧めします。

処理についていろいろ述べましたが、要は処理の目的は、最初に述べたように、「あくまでも書かれている内容が正しく伝わるように音声化すること」ですから、「墨字の表現形式がわかるように音声化することが目的ではなく、墨字の表現形式で表している原本の内容を正しく伝えること」です。もちろん、中には表現形式を問題にしている時もありますから、その時はそれを伝える処理が必要になるのは当然です。表現形式どおり（書かれているとおりに）音声化しても内容が正しく伝わらないことはよくありますので、あえて処理の目的をはっきりさせておきたいと思います。

では、こうしたことを念頭におきながら、これから音声訳上の処理を具体的に考えていきます。

前回の練習問題のポイント



◎ 引用文は4ヶ所あります。①の引用部分はなんとかわかりそうですが、②、③、④の引用部分は、入るところも終わりもはっきりしません。①の引用の所で「カギカッコ……トジ」と読み込むこと、「カギカッコ……トジ」のコメントが引用文を表していることがわかりますので、以下、②③④もカギカッコ……トジ（カギカッコトジ）と読み込むことで引用文であることがはっきりするでしょう。他にも「以下引用……引用終わり」などと処理することもあるでしょう。

この場合、他のところで「カギカッコ……トジ」を引用文以外に使うと混乱しますので注意しましょう。

◎ () の処理で問題になるところは、「……牛人（^{くだん}件）は輪郭だけで……」のところでしょう。「牛人、カッコ、くだん、トジ、は輪郭だけで……」と読めば誰にでも、牛人=件とわかりますが、音声表現でピッチを落とし、クダンと読んだだけでは、みんなに通じるとはいかないでしょう。しかし、これが問題になる前に、「^{くだん}件」の漢字が「ニンベンにウシ」という漢字であることを補足しておけば、カッコ……トジがなくてもよいかもしれません。

<前回の例文の一部>

…… 先年、平山三郎『詩琴酒の人』（昭和五十四年）を拾い読みしてみると、こういう部分が眼についた。

①「（昭和）十四年一月頃の事と思はれるが、長年の親しい友人だつた佐藤春夫と交際を断つた。杉並区方南町に別居している長女の結婚の話があつてまとまつたところ、その媒酌を佐藤春夫が引受けたと通知されたので百間ひゃくまは激怒した。父親に何の相談もしないで佐藤に頼むとは何事か、また引受ける佐藤も佐藤だと云ふので、小石川関口町の佐藤慵齋居ゆづいに行き、「爾今、絶交する」と宣言したといふのだ』これには、驚いた。こういうことは、何も知らなかった。

…… 件はいつまでも黙っている。群衆は苛立ち怯えて、件が余程大変なことを言い出しそうな気になってくる。……

岡山空襲のあとは、この看板はない……。いや看板自体が私の幻覚ではなか

ろうか、と心もとなくなってきた。調べてもらおうと、たしかに戦前戦中にはそういう看板が存在していたそうである。

②『件の話は子供の折りに聞いた事はあるけれども、自分がその件にならうとは思ってもよらなかったからだが牛で顔^{だけ}丈人間の浅間しい化物に生まれて、こんな所にぼんやり立っている』③『件は生まれて三日にして死し、その間に人間の言葉で、未来の凶福を予言するものだと云ふ話を聞いている。こんなものに生まれて、何時迄生きていても仕方がないから、三日で死ぬのは構はないけれども、予言するのは困ると思つた。第一何を予言するんだか見当もつかない』

夜が明けると、何千何万もの人間が、件を遠巻きにした。件の予言を待つので
.....

件はいつまでも黙っている。群衆は苛立ち怯えて、件が余程大変なことを言い出しそうな気になってくる。④『いいにつけ、悪いにつけ、予言は聴かない方がいい。何も云はないうちに、早くあの件を殺してしまへ』という声が、群衆の中から飛んだ。⑤『その声を聞いて私(件)は吃驚した。殺されては堪らないと思ふと同時に、その声はたしかに私の生み遺した倅の声に違ひない』

ここで、また詮索に戻ってしまうところが困るのだが、「件」は大正九年百間三十一歳のときの作品である。.....

¢ £ % # & * @ \$ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ ¢ £ % % # & * @ £

今回練習問題



【例文1】

町も家もごりょんさんが守った

前節で「しばらく中学時代のことを思い返してみたい」と書いたのだが、予定を変更して『ごりょんさん』のことを書きたい。予定変更は一通のお便りのせい。天神さんの飴売りの唄のところで紹介させて頂いた若柳吉古錦さんからです。

お便りと一緒に、カレンダーが送られてきたのです。そのカレンダーは『明治・大正・なにわ百景シリーズ』の一つで、タイトルがなにわのごりょんさん(商家の妻女)なのです。

「ごりょんさん」。懐かしい言葉です。正式には「ごりょうにんさん」。なまってごりょんさん。漢字で書けば「ご料人さん」または「ご寮人さん」。

広辞苑にはくごりょん【御寮人・御料人】（ゴリョウニンの訛）他人の妻または娘の尊敬語とありますが、大阪では、もう少し限定して使われていたようだ。牧村史陽編『大阪ことば事典』にはくゴリョンサン【御料人様】ごりょうにんさまの約。商家など中流家庭の若奥様の称。御寮人は後世の当て字である。とある。

また、ものの本によれば、御寮の寮は部屋のこと。まだ部屋住まいの新婦で、江戸では御新造ごしんぞうと呼んだ。もとは若妻に限らず、年若い娘も称したらしい。姫御料、嫁御料という言葉もある。「花嫁ごりょうはなぜ泣くのだろう」という歌もある。

【例文2】

春の七草

芹せり、なずな、ごぎょう、はこべら、仏の座、すずな（かぶら）、すずしろ（大根）。正月七日、本来はこの七種ななくさ＝七草をいれて炊いたという七草粥ななくさかゆを食べるのは、いまも残っている習慣です。といっても今日の七草はおよそ早春の野の草というにはさびしく、芹とすずな、すずしろにいくらかの青菜を加えて、ちんまりとプラスチックパックで売られていることが多いのですが。それでもふっくりと炊き上がったお粥にやわらかな青みがちっているのはなかなか美しく、ふうふう食べながらお腹のなかが清められていくような感じに、粥を食べることで一年の健康を願った行事の由来も納得させられます。

この七草粥の習慣は江戸時代には民間に広まっていたましたが、もとは平安時代、最初の子この日に野で菜なを摘み、贈りあっては食して邪気をはらった宮中の行事からきているといわれます。その早春の菜を若菜、摘むことは若菜摘みといい、宮中の女性たちが好んだ野遊びでもありました。清少納言は「七日、雪まのわかなつみ、あをやかにて、れいはさしもさるもの目ちかゝらぬ所に（ふだんは若菜のようなものはそんなに見馴れない高貴な所で）、もてさわぎたるこそをかしけれ」と、正月の風情として『枕草子』に書いています。

陰暦のお正月ですから、今でいえば二月。とはいうものの、まだ野に雪が積もっていることもよくあったのでしょう。しかし、雪の冷たさのなかでいっそう清冽な香りをはなち、生命力を感じさせるその緑こそ、春の喜びと年の改まったすがやかな心を確認するのに格好のものでした。『古今集』には春の部に初めにこんな若菜摘みの歌があります。・・・

ことばQ&A <「NHKことばのハンドブック」より>

〔シ・シュ〕と〔ジ・ジュ〕の発音

Q 「新宿」を〔シンジク〕と言う人がいるが、間違った発音ではないか

A 放送では、〔シンジユク〕と〔シンジク〕の両方の発音を認めている。

〔キャ・キュ・キョ, シャ・シュ・ショ, チャ・チュ・チョ〕などの音を拗音と呼ぶが、これらの拗音を含む新宿や原宿（伝統的なかなづかいでは、「しんじゅく」「はらじゅく」）などのことばを、〔シンジク〕〔ハラバク〕と発音する人が、実際には少なくない。拗音そのものが必ずしも発音しやすい音ではないということのほかに、拗音を含むことば全体としての音の続き具合や、発音の地域差や個人差など、さまざまな要因がからんで、こうした現象が生じると考えられる。

たとえば、「手術」のように、〔シュ〕と〔ジュ〕の2つの音を続けて発音しなければならないことばの場合など、その発音は〔シュジュツ、シュジツ、シジュツ、シジツ〕など、さまざまに分かれよう。文字にできない細かい違いを考えれば、実態はまさに十人十色と言える。こうした実態を考慮して、放送では、〔シュ〕〔ジュ〕を含むことばの中でも特に発音しにくいものは、〔シ〕〔ジ〕に近く発音してもよいことにしている。それには、「新宿・原宿」の他に「下宿・野宿・宿題・学習塾・出陣・外出・美術・著述」などの語が含まれる。

しかし、〔シュ・ジュ〕を〔シ・ジ〕に近く発音することによって、違った意味の言葉に聞き取られるおそれのある時は、明確に〔シュ〕〔ジュ〕と発音しなければならないことは言うまでもない。

「出典」と「失点」、「出頭」と「執刀」などの場合がそれである。

二通りの読みがあって意味が異なるもの・・・(34)

| | | | |
|----|---|----|------------------------------------|
| 発言 | ハツゲン 言葉を発すること。 ハチゲン 大きな事を言うこと | 間切 | マヰリ 間切ること。 ケヰリ 坑道 |
| 白い | ハクイ 上等、良い、美しい 意の隠語。 シロイ 白色である。明るい | 手羽 | テハネ 鳥の翼の最も外側にある大羽 テハ 鶏肉の羽の付け根部分 |
| 大用 | ダイヨウ 大事な用事。大便。 タイヨウ 大きな効用 | 付帯 | フタイ 主なものに付け添える事 ツケビ 女帯の一種、軽装帯 |

きれいに録音するために (第15回)

声がダブって録音される？

雑音のところで触れなかったケースが、今回たまたまありましたので取り上げます。

家庭録音しているボランティアのHさんから、「訂正した部分がかすかにダブってるようにも響いているようにも聞こえるけどどうしてなのか」との質問を受けました。それで、近くに共鳴するものがないか、録音は同じ場所で行っているかなどを確かめると、場所も変えず、近くに共鳴するものもないことがわかりました。それで録音の仕方を聞くと、ヘッドホンの片方を外して録音したことがわかりました。つまり、原因はヘッドホンからもれた音が録音されていたわけです。後日、ヘッドホンを両方ちゃんと付けて録音したらよくなったとの返事がありました。カセットデッキで録音されている方は、ヘッドホンからもれる声がマイクに拾われないように注意しなくてはなりません。ヘッドホンやイヤホンを外してそのまま録音すると、もれた音が録音されてしまいます。これを防ぐには、ヘッドホンのジャックを抜く、再生ボリュームがあればそれを絞る、耳から外さないようにする、マイクに拾われないように遠くにおくなどの工夫をします。古いタイプのソニーのRXシリーズは、モニターの音量調整は付いていませんので、かなり大きめに聞こえますので特に注意しましょう。RXシリーズの最近のものはカセットデッキ自体に再生用のボリュームつまみが付いています。また、ヘッドホンやイヤホン自体にボリューム調整ができるものもあります。

以下のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。
グループの方で引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。

リクエスト図書一覧

- 『新編俳句歳時記 春』 森澄雄 著 <俳句>
- 『新編俳句歳時記 冬』 森澄雄 著 <俳句>
- 『児童福祉論』花田順信著 <社会福祉>
- 『老人福祉論』上田千秋著 <社会福祉>
- 『原説 般若心経』高橋信次著<宗教>
- 『ゼウス靈示集』大川隆法著<宗教>



| 引き受けて頂いた原本 | グループ |
|---|---|
| 『英語科教育法入門』土屋澄男著 <英語> 『タイム・パトロール／時間線の迷路』 『タイム・パトロール／時間線の迷路』 『<医>をめぐる言葉の辞典』 <医学> 『栗田式新・指回し健康体操』 <医学> 『在日挑戦』矢野宏著 『こころの紋様』埜村宗郁著 『新編俳句歳時記 新年』 | 近点協英語チーム テープライブラリーにしのみや テープライブラリーにしのみや えくてもあ えくてもあ えくてもあ えくてもあ えくてもあ |

☆☆☆「処理研究会」のお知らせ☆☆☆

これまでの「音声訳研修の会」とは別に、新たに「処理研究会」を行う予定です。「研究会」の内容は、「処理の研究」が中心で「研修」ではありません。ここで研究した処理の例などは、「処理マニュアル」や『ろくおん通信』などにも反映させていく予定です。

第1回目は、**7月5日4時**から盲人情報文化センター、7階で行います。参加を希望者されます方は清水までご連絡下さい。